

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

〔目標〕

富山大学は、大学の理念を踏まえ、人間尊重の精神を基本としながら、高い使命感、創造力、コミュニケーション能力及び実践的指導力を備え、多様な専門性を持つ他者と協働して課題解決に取り組み、自律的に教員としての資質能力を高め続けることができる教員を養成する。

〔計画〕

教育学部、大学院教職開発実践研究科及び全学の教職課程を統括する教職総合支援センターが先導的な役割を果たしながら、教育委員会と連携し、目標を踏まえた教職課程を編成・実施することで、教員養成の質の向上を図る。

人文学部 人文学科

〔目標〕

人文学部人文学科は、富山大学の教員養成の目標に加え、幅広い教養と人文学諸分野に関する専門的知見に基づき、グローバル社会にふさわしい多様な価値の尊重の上に、教職に対する高い使命感と倫理観をもって自主的・主体的に行動できる教員を養成する。

〔計画〕

中一種免（国語）及び高一種免（国語）の課程では、講義と講読により日本語学及び日本文学を中心とした日本文化全般にわたる幅広く深い知識を身に付け、演習等を通じて実践的な思考力・表現力を身に付けさせることにより、国語の教育者として必要な「読む・書く・聞く・話す」ことに関する高い能力を有し、我が国の言語文化の魅力を適切に伝えることができる教員を養成する。

中一種免（社会）、高一種免（地理歴史）及び高一種免（公民）の課程では、講義と講読により哲学・人間学、歴史学の諸分野及び人文地理の深い専門的知識を身に付け、演習等を通じて社会的事象を多角的な視点から深く考察する能力を身に付けさせることにより、「社会科」全体への総合的な知識と専門的見識を備えた教員を養成する。また、地理歴史、公民、社会科教育の幅広い分野をカバーするため、様々な授業を履修し、更に自らが専門とする分野の演習形式や実習形式の授業を履修することで、それぞれの分野をより深く学ぶことにより、「社会科」全体への深い知識と専門的見識を備える教員を養成する。

中一種免（英語）及び高一種免（英語）の課程では、講義と講読により英語学及び英語文学を中心とした英語全般にわたる幅広く深い知識を身に付け、演習等を通じて英語圏を始めとした広い地域との深く継続的な異文化交流に資する実践的な表現力を身に付けさせることにより、英語の教育者として必要な「読む・書く・聞く・話す」ことに関する高い能力を有し、グローバル社会において必要な国際的理解と国際協調の精神を持ち、コミュニケーションの方法と重要性を伝えることができる教員を養成する。

教育学部 共同教員養成課程

〔目標〕

富山大学教育学部共同教員養成課程・金沢大学人間社会学域学校教育学類共同教員養成課程では、富山・石川両県における教員養成を目的とする課程であるという設置趣旨を踏まえ、学校現場の課題に正面から取り組み、使命感を持って子どもたちの成長に尽くすことのできる教員を養成する。

〔計画〕

授業づくりや学級づくりの実践的なスキルトレーニングを、附属学校園や県市町村教育委員会と連携しながら進め、1年次から教職・教科の専門的な学習とともに地域の学校現場を体験し、教育実習を重ねて実践的な力量を高められるカリキュラムを整備する。

また、従来の両大学の教員免許種の維持とともに、両大の学術的・機能的特徴を生かした相乗効果による現代的教育課題への対応を可能とするカリキュラムを編成する。

理学部 理学科

〔目標〕

理学部理学科は、富山大学の「教員養成の目標・計画」を踏まえ、理学の諸分野（数学、理科）のそれぞれの基礎から応用まで幅広く学ばせることにより、理学を活用するための知識と技能を修得させ、理学的な見方や考え方の良さ、面白さを教授し、それらを積極的に活用する姿勢を育てることのできる数学及び理科の中学校・高等学校教員の養成を目指すとともに、情報及び情報技術を活用するための知識と技能を修得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養いながら社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と姿勢を育てることのできる情報の高等学校教員の養成を目指す。

〔計画〕

中一種免（数学）及び高一種免（数学）の課程では、数学プログラム及び数理情報学プログラムにおいて、代数学・幾何学・解析学並びに応用数学までの、純粋数学から情報処理、プログラミング等の応用に至る幅広い知識を身に付け、これらの学修を通じて問題発見・解決に必要な数学的知識や数学的思考力、論理的かつ明晰な表現力、数学を学び続ける姿勢を身に付けさせる。さらに、指導法や教育に関する科目の履修を通じて、身に付けた数学的知識、思考力、表現力等を生徒に教授する能力、教育の重要性や他者と協調して課題解決に当たるためのコミュニケーション能力を身に付けた教員を養成する。

中一種免（理科）及び高一種免（理科）の課程では4つのプログラムがあり、物理学プログラムにおいては自然の仕組みを理解するために不可欠である物理学を基礎から着実に習得し、物理学的な広い視野に基づいた問題解決能力及び応用力を身に付け、化学プログラムにおいては自然界の多様な物質の構造、物性、反応を原子分子レベルの観点から理解するための幅広い専門的知識と化学的方法論を習得し、生物科学プログラムにおいては生物学の専門知識と技術に加え、生命現象の普遍性と多様性やそれらの進化的意義及び生命の尊厳を深く学ぶと共に生命科学分野の応用的な知識及び技術を修得し、自然環境科学プログラムにおいては物理学、化学、生物学、地球科学を基礎とした環境科学について学び、地球環境の大切さを科学の目を通して理解するとともに、環境科学について高度で幅広い知識及び思考力を身に付けさせる理学の諸分野の授業を編成・実施する。全プログラムで共通に履修する概論科目、各プログラムで開講される基盤科目及び発展科目の履修により理科の各専門分野に関する網羅的な知識、問題発見・解決力を修得させる。加えて、理科の諸科目の専門的学識、実験・観察を通じた科学的探究力、問題発見・解決力、社会貢献力、並びにコミュニケーション能力を修得させる。さらに、指導法や教育に関する科目の履修を通じて、身に付けた理科諸科目の専門的学識等を教授し生徒の探究心を育てる能力、教育の重要性や他者と協調して課題解決に当たるためのコミュニケーション能力を身に付けた教員を養成する。

高一種免（情報）の課程では、数学プログラム及び数理情報学プログラムにおいて、情報学の基盤をなす数学分野の専門的授業と他学部で開設される情報学関連分野の授業を編成・実施する。このカリキュラムを通じて、情報及び情報技術を活用するための知識と技能を身に付け、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の情報化の進展に主体的に対応できる、問題発見・解決に必要な能力を身に付けさせる。さらに、指導法や教育に関する科目の履修を通じて、身に付けた情報に関する知識、思考力、表現力等を生徒に教授する能力、教育の重要性や他者と協調して課題解決に当たるためのコミュニケーション能力を身に付けた教員を養成する。

工学部 工学科

〔目標〕

工学科は、幅広い教養と深い専門的知識を修得し、それらを諸課題に応用できる問題解決力や豊かな創造力を持ち、更には、自然と共生しながら地域社会や国際社会の持続的発展に貢献できる倫理観・責任感を持った高等

学校（工業）の教員を養成する。

〔計画〕

工学科では、共通的な基礎教育の履修とともに、創造工学を通じたものづくりやリーダー教育に対応した教育課程を編成することで、将来、技術者や研究者を志望する高校生に対し、工学の専門的知識に基づいた教育を実践することができる教員を養成する。

都市デザイン学部 地球システム科学科

〔目標〕

地球システム科学科は、富山大学の教員養成の目標に基づき、生徒や保護者の立場で考えることのできる豊かな人間性、課題解決に向けた創造力、教職に対する使命感を持つ、自然科学に広く通じた教員を養成する。

〔計画〕

地球システム科学科は、大気、海洋から固体地球まで「地球」についての幅広い教育、自然と人間圏との関係についての教育、高低差 4,000m のユニークな環境を教材とする「地域」の自然についての教育を行っている。この教育プログラムにおいて修得した自然科学に関する深い専門知識や問題解決能力、コミュニケーション能力、更には豊かな人間性を持ち、中学校・高等学校における教育現場で活躍できる人材を輩出する。

都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科

〔目標〕

都市・交通デザイン学科では、技術者倫理を備え、構造・地盤・材料・水理等の基礎分野とともに、都市計画・交通計画・防災から環境に至るまでの幅広い分野を座学、実験、演習科目群から学ぶことができる。これらの環境から、幅広い基礎・専門知識を有し、豊かな人間性と 21 世紀の教育課題に応えることのできる創造力を持ち、教職の仕事に高い使命感と総合大学ならではの得意分野を持つ個性豊かな高等学校（工業）の教員を養成する。

〔計画〕

都市・交通デザイン学科では、土木工学の基礎から都市や交通の計画、防災や環境に至るまでの幅広い分野の科目を設定して教育するとともに、研究者・技術者倫理や様々な課題解決に有用なデザイン思考を基盤とした教育を行い、土木に関する実践的指導力はもとより社会における課題解決能力を養成する指導力を持った教員を輩出する。

都市デザイン学部 材料デザイン工学科

〔目標〕

材料デザイン工学科の教育目標は、「原子・分子から都市構造物に至るテラスケールレンジの視点で、未来社会の基盤材料をデザインし創り出すための科学・工学の教育・研究を行い、高度な専門知識をもって安全・安心の実現に貢献する国際性豊かな材料技術者・教育者を育成し、持続可能な社会形成に寄与すること」にある。この趣旨に基づいて、都市における社会基盤材料をデザインするための教養と専門的知識を修得し、それらを諸課題に応用できる問題解決力、デザイン思考の素養を持ち、自然と共生しながら地域社会や国際社会の持続的発展に貢献し得る高等学校教員を養成する。

〔計画〕

材料デザイン工学科は、軽金属教育に関して総合的な教育研究体制が整った環境の中、富山の自然を教材にして自然と共生する人間社会の構築に必要なインフラ材料を創出し、海外の研究者による講義や研究指導の試行等も行っている。この教育プログラムにおいて、持続可能な都市のデザイン思考力及び高強度で高機能な先進的材料をデザインし創り出すための知識と、安全・安心社会の基盤材料の製造技術を理解して次世代を育成する教員という社会的使命を自覚した教育者を育成する。

人文社会芸術総合研究科 人文社会芸術総合専攻

〔目標〕

人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻は、富山大学の「教員養成の目標・計画」を踏まえ、幅広い学問分野の学識を基盤とし、人文科学の高度な専門的学識と豊かな研究能力を備え、高い使命感と倫理観をもって現代的な教育課題に適切に対応できる中学校専修免（国語、社会、英語）及び高等学校専修免（国語、地理歴史、公民、英語）の教員を養成する。

〔計画〕

人文社会芸術総合研究科が他の研究科とも連携し、上記の目標を達成するための体系的な教職課程を編成・実施する。大学院共通科目と研究科共通科目による幅広い学問分野の基盤教育を行うとともに、人文社会芸術総合専攻において、人文・芸術プログラムに開設する「文学」の学位取得を目的とする授業科目により、人文科学の専門性と研究能力を高める教育を提供する。教職課程を履修する学生は、大学院共通科目や研究科共通科目とともに、それぞれの免許教科に関する選択科目を履修することにより、幅広い分野の基盤的能力及び各専修免許における「教科に関する専門的事項」についての高度な専門的学識を身に付ける。これらの専修免許状に関する課程認定は、人文学部人文学科における一種免許状の教職課程と連続するものである。

理工学研究科 理工学専攻

〔目標〕

理工学研究科理工学専攻は、富山大学の「教員養成の目標・計画」を踏まえ、幅広い学問分野の学識を基盤とし、自然科学分野の高度な専門的知識と豊かな研究能力を備え、倫理観および新たな知を創り出す創造力を身に付け、教育現場で指導的役割を果たしうる、数学あるいは理科の中学校・高等学校教員を養成する。

〔計画〕

理工学研究科が他の研究科等とも連携し、目標を踏まえた教職課程を編成・実施する。大学院共通科目や研究科共通科目による幅広い学問分野の基盤教育を行うとともに、理工学研究科理工学専攻の各プログラムで設置されたプログラム専門教育による自然科学分野の専門教育および先端的研究により、自然科学の専門性と研究能力を高める質の高い教育を行う。これにより教員養成の質の向上を図る。また、これらの専修免許状に関する教職課程は、理学部（数学科、物理学科、化学科、生物学科、自然環境科学科（生物圏環境科学科））及び都市デザイン学部（地球システム科学科）における一種免許状の教職課程と連続するものである。

教職実践開発研究科 教職実践開発専攻

〔目標〕

教職実践開発研究科は、本学と富山県教育委員会の強い連携・協働体制の下、学校内や地域の教育活動を俯瞰する広い視野を持ち、高度な実践力・課題解決力を有する教員（スクールリーダー）を養成することで、教員養成全般に対する先導的・主導的役割を果たすことを目標としている。

〔計画〕

教職実践開発研究科では、学校現場が抱える今日的教育課題について深く理解し、理論と実践の往還による教育を通じて、高度な専門性と実践力、高い課題解決力を備え、「チーム学校」の牽引役となるスクールリーダーとして活躍できる教員を育成する。